# 東工大大岡山キャンパス - その歴史と未来 -

# 東京工業大学百年記念館1階展示室 2010年11月4日[木]-12月3日[金]

〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1 東急大井町線目黒線大岡山駅から徒歩1分 10:00~17:00 (初日は13:00~) 日曜休み/入場無料

「大岡山キャンパスのこれから ーサイエンスパークをめざしてー」 鼎談:安田幸一(東京工業大学大学院理工学研究科教授) 佐藤政弘(東京工業大学施設運営部部長) 平賀達也(ランドスケープ・プラス) <発表順>

司会:藤岡洋保(東京工業大学大学院理工学研究科教授:実行委員長)

2010年11月17日(水) 18:00~20:30 (17:30開場)

東京工業大学百年記念館3階フェライト記念会議室

定員約100名(先着順·参加無料)

### ギャラリー・トーク

解説:藤岡洋保

第1回 2010年11月10日(水) 第2回 2010年11月18日(木) 第3回 2010年11月23日(火·祝) 各回定員約30名(要申込·参加無料) 14:00~15:30 (学内向け) 14:00~15:30 (学内向け) 14:00~15:30 (一般向け)

申し込みは各回とも開催前日正午までに、氏名・年齢・所属・連絡先をご明記の上、下記問い合わせ先までメールまたはFAXにてご応募下さい。

展示協力/人間環境システム専攻奥山研究室 計算工学専攻亀井研究室 建築学専攻藤岡研究室

東京工業大学百年記念館事務室 TEL 03-5734-3340 FAX 03-5734-3348 E-mail cent.exhibit@jim.titech.ac.jp URL http://www.cent.titech.ac.jp



東京工業大学百年記念館第12回特別展示·講演会「東工大130」協賛事業

その歴史と未来



1923 (大正 12) 年 9 月の関東地震で蔵前のキャンパスが罹災した東京高等工業学校 は、同年末に、田園都市株式会社(現・東急)が土地取得を進めていた大岡山に新キャンパ スを求めました。しかし移転時に得られたのは3つの飛び地で、そのうち2つは鉄道で隔て られているという、キャンパスを計画するのが難しいもので、そこに仮校舎が分散して建て られたものの、1929(昭和4)年に大学に昇格した本学の震災復興事業を円滑に進められ ないような状況でした。三鷹への再移転を検討せざるを得ない事態になって、大岡山の商店 街から移転反対運動が起こったほどです。ここで、大井町線の新設用地として本学土地の割 譲を希望していた目黒蒲田電鉄株式会社 (田園都市株式会社の後身) が地元の地主との土 地交換の仲介を引き受け、現在の大岡山キャンパスの敷地外形が大岡山駅北側をのぞいて ほぼ固まったのが 1931(昭和6)年頃で、その過程で本館の位置が決まり、それに先行し て分析化学教室と水力実験室が別棟でつくられました。そして本館後ろには実験工場群が、 石川台地区には建築材料研究所、資源化学研究所、精密機械研究所が建てられました。これ らの建物がすべて完成した 1938 (昭和 13)年の時点で、ようやく大岡山キャンパスの骨 格が整ったといえます。

戦中・戦後の厳しい時代が終わり、1960(昭和35)年頃から、高度な技術者の養成が 日本の発展のために急務とされるようになったのにともなう学科・専攻の増設や定員増に

あわせて、多くの建物が新設されました。それらは予算獲得にともなって次々に建設され、 いまでは建物がかなり密集した感じのキャンパスになっています。1938(昭和 13)年当時 と比べると、大岡山地区の建物の延床面積合計は4倍弱になっています。

キャンパスの整備を図るべく、計画がいくつかつくられましたが、その提案が実現したのは 一部だけでした。その一方で、本館前にプロムナード(広場の設置)を配して人が集える場に 変えたとか、東工大蔵前会館(TTF)建設の際にキャンパス境界の塀を廃止して地域との関 係を連続的にした(地域への貢献)とか、新設附属図書館を地下に建設する(地下の活用)な ど、キャンパスのあり方についての新しい提案も近年見られるようになってきています。

このような変革期に創立 130 周年を迎えるにあたって、本学の発展のためにも、大岡山 キャンパスの今後について考えることは重要な課題といえましょう。

今回の展示会は、大岡山キャンパス形成の過程、折々の将来計画、キャンパス内の有名建築 などを紹介しながら、一般の人々にも門戸を開きつつ、シンポジウムやキャンパス・ツアー、 ギャラリー・トークをあわせ行って、これからの大岡山キャンパスのあるべき姿を模索する ための手がかりを提供しようとするものです。

> 「東工大大岡山キャンパス - その歴史と未来 - |実行委員長 東京工業大学大学院理工学研究科教授 藤岡 洋保













建築模型や図面、各種文書資料の展示を通じて、大岡山キャンパスの形成とその変遷を紹介します。

写真: 左上) 本館 / 東京工業大学復興部工務課 (1934年)、中上) 水力実験室 / 谷口吉郎 (1932年)、右上) 管理棟 / 清家清 (1967年)

左下)創立七十周年記念講堂 / 谷口吉郎 (1958 年 )、中下)百年記念館 / 篠原一男 (1987 年 )、右下)東工大蔵前会館 / 坂本一成 (2009 年 )

## 東京工業大学百年記念館1階展示室 2010年11月4日[木]-12月3日[金] 10:00~17:00 (初日は13:00~) 日曜休み/ 入場無料

主催/東京工業大学百年記念館

/東京工業大学大学院理工学研究科建築学専攻 協賛/東京工業大学創立130周年記念事業準備室

後援/大田区教育委員会 目黒区教育委員会 社団法人蔵前工業会

協力/東京工業大学施設運営部

展示協力/人間環境システム専攻奥山研究室 計算工学専攻亀井研究室 建築学専攻藤岡研究室

〒152-8550 東京都日黒区大岡山2-12-1 東急大井町線目黒線大岡山駅から徒歩1分 東京工業大学百年記念館1階展示室



